

## 国際会議

# 『シリア世界遺産の次世代への継承を目指して ーパルミラ 奈良からのメッセージ』

シリアでは2011年にはじまった紛争により、世界遺産パルミラをはじめとする多くの文化遺産が破壊や盗難の被害にあっています。シリアはこうした文化遺産を保存・修復し、将来に継承していくための国際的な協力を必要としています。

本年度、奈良県立橿原考古学研究所はUNDP(国連開発計画)からの委託を受け、シリアの文化財関係者の人材育成事業(シルクロードが結ぶ友情プロジェクト(The Silk Road Friendship Project))を実施します。今回はこの事業のキックオフ・イベントとして、下記のとおり国際会議を開催します。

日程 平成29年7月11日(火)~7月13日(木)

会場 奈良春日野国際フォーラム 能楽ホール

【主催】シルクロードが結ぶ友情プロジェクト実行委員会・奈良県立橿原考古学研究所

【後援】UNDP(国連開発計画)、外務省、文化庁(申請中)、日本西アジア考古学会

7月11日(火) 14:00-17:00

オープン・シンポジウム

## 『シリア文化遺産の保護と日本の役割』

開会挨拶

奈良県知事 荒井 正吾

記念座談会



マムーン・  
アブドゥルカリーム  
(シリア:シリア古物博物館総局総裁)



青柳 正規  
(東京大学名誉教授・前文化庁長官)



ヤマザキマリ  
(マンガ家)



司会: 黒木 英充  
(東京外国語大学教授)

伝統芸能: 狂言

### 申込方法

往復はがきまたはインターネットによる事前申込制(定員300名。申込多数の場合は抽選)。

往復はがきの場合: 〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町1番地 奈良県立橿原考古学研究所 シリア国際会議係  
聴講を希望される方は往復はがきの往信裏面に氏名・住所・電話番号を、返信表面に住所・氏名(宛名)をお書きの上、  
お申し込み下さい(6月23日(金)必着)。なお、12・13日は申込不要です。

インターネットの場合: 奈良県立橿原考古学研究所ホームページ(<http://www.kashikoken.jp/>)をご覧ください。

7月12日(水) 9:30-17:00

事前申込  
不要

専門家パネル

## 『パルミラ遺跡の現在から将来へ』

発表者

ワリード・アスアド(シリア/フランス:パルミラ古物博物館局)  
オマル・アスアド(シリア/フランス:パルミラ古物博物館局)  
フマーム・サアド(シリア/フランス:ソルボンヌ大学)  
ミハウ・ガウリコウスキ(ポーランド:ワルシャワ大学)  
アンドレアス・シュミット=コリネ(ドイツ/オーストリア:ウィーン大学)  
マリア・テレザ・グラッシ(イタリア:ミラノ大学)  
ヨルゲン・クリスティアン・マイヤー(ノルウェー:ベルゲン大学)  
ピエール・アンドレ・ラブロード(フランス:文化省文化遺産局)  
西藤 清秀(奈良県立橿原考古学研究所)

7月13日(木) 10:00-17:10

事前申込  
不要

シンポジウム

## 『シリア文化遺産の次世代への継承』

コーディネーター

常木 晃(筑波大学) サミュエル・リズク(UNDPシリア)  
青山 弘之(東京外国語大学)

発表者

アフマド・ディーブ(シリア:シリア古物博物館総局)  
松原 康介(筑波大学)  
黒木 英充(東京外国語大学)  
マフムード・ハムード(シリア:ダマスカス市古物博物館局)  
ジャック・シーニュ(フランス:CNRS)  
アントニオ・ヤッカリーノ・イデルソン(イタリア:トリノ大学)  
サルキース・エル=ホウリー(レバノン:レバノン古物総局)  
ゲオルギオス・トゥベキス(ドイツ:アーヘン工科大学)  
前田 耕作(和光大学)  
クリスティーナ・メネガッツィ(レバノン:ユネスコベイルート事務所)  
松本 太(外務省駐シリア臨時代理大使) 他

※事前申込不要。但し定員に達した場合は、入場をお断りすることがあります。

※同時通訳あり。国際情勢の変化等により出席者は変更になる可能性があります。11日~13日の期間、関連団体による写真や物品の展示等があります。